

高尾山富士浅間社鳥居・玉垣改修事業

浄財勧募のお願い

ご信徒の皆様におかれましては、御本尊飯繩大権現様の御加護に浴せられまして、日々ご清適にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また平素は当山興隆のため、格別の御高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、武州・甲州の乱国渦中の天文年間に、時の領主北条氏康により、高尾山浅間社が建立されて以来、当山は関東における富士信仰の新たな拠点となりました。平成十九年に再興された、「霊峰富士登拝修行」から本年度第十箇度を数え、今なお富士抖擻修行の拠点であり続けております。

しかしながら、建立以来修復を重ねて参りましたが、数多の月日を重ねたことで浅間社周辺の鳥居・玉垣の損傷いちじるしく、この度当山貫首により、改修事業が発願されました。

つきましては、全国有縁のご信徒の皆様におかれましては、この浄業に大いなるご理解と格別の御信助を賜りたく、茲に謹んでお願い申し上げます。

合掌

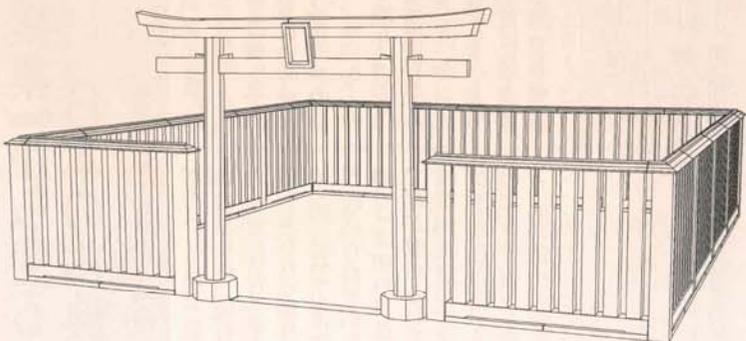
玉垣の御奉納

外側刻銘		内側刻銘	
大石柱	八本	大石柱	二本
中石柱	六本	中石柱	九本
小石柱	八十二本	小石柱	百十二本
金	金	金	金
四十万円也	三十万円也	三十五万円也	二十五万円也
	十五万円也		十万円也

寄進者の御芳名は玉垣に刻み、高尾山に末永く留め、貴家の御繁栄を御祈念申し上げます。

*玉垣の奉納数には限りがございますので、満数になり次第締め切らせて頂きます。
 *御来山の折の御志納につきましては、御護摩受付所にて承っております。
 尚、書留で御志納される場合は、必ず「高尾山浅間社改修事業志納金」と、お書きください。

鳥居・玉垣完成予想図



玉垣刻銘予想図

大石柱	縦140・9 cm	横16・7 cm
中石柱	縦136・4 cm	横15・2 cm
小石柱	縦121・2 cm	横12・1 cm



大本山高尾山薬王院